

# 令和6年度 学校経営方針

## 学校教育目標 たくましく生きる人間性豊かな 児童を育成する

- ### 本年度の重点目標
- 1 情報活用能力の向上(児童)
  - 2 授業力の向上(教員)
  - 3 学び合い、励まし合い、高め合う職場環境作り(全職員)

- ### めざす学校像
- 笑顔いっぱいの学校
  - 子どもたちの良さを伸ばす学校
  - 期待と信頼に 応える学校

- ### めざす児童像
- ・思いやりのある
  - ・自分で学習する子
  - ・進んで運動する子

- ### めざす教職員像
- ・学ぶ姿勢をもつ教職員
  - ・子供を理解し、支援する教職員
  - ・温かさ と 厳しさをもつ教職員
  - ・ワークライフバランスを意識して行動する教職員

- ### 教育課程の編成(何を学ぶか)
- ・基礎基本事項(知識・技能)の定着
  - ・言語能力の育成
  - ・問題発見・解決能力の育成
  - ・情報活用能力の育成

- ### 教育課程の実施、指導体制の充実、家庭地域との連携・協働(どのように学ぶか・実施するために必要なこと)
- ・子供の実態(校内研究のアンケート、学力学習状況調査等)から見える客観的データを基にした教育課程の実施
  - ・一人一台タブレット端末等 ICT の日常的・効果的な活用(子供が主体となる ICT の活用、タブレット端末の道具化)
  - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実施
  - ・話し合い活動(ペアトーク・グループトーク等)、朝の会のプレゼンテーションの実施など情報活用能力を育成する常時活動の実施
  - ・授業力を向上させる研究・研修の充実(教員年一人一回の授業研究の実施、研修時間の確保)
  - ・学年全体で取り組む道徳教育(学年交換授業)
  - ・読書活動・異学年交流の推進と充実
  - ・「あいさつ」「そうじ」「行事」等の取組により育てる豊かな心
  - ・一人一人に寄り添う教育(特別支援教育、特別な支援を要する児童への対応、不登校傾向の児童への対応:オンライン授業の実施等)
  - ・迅速で組織的な生徒指導(「報連相」と組織的、段階的な生徒指導対応、外部機関を有効活用しながらの相談機能の充実)
  - ・地域(特に宮本小おやじの会)との連携

- ### 開かれた・職員の負担が軽減される学校づくり
- ・学校・学年・学級便り、Web サイト、メール等による積極的な情報発信
  - ・外部の人材・教材を生かした学校づくり
  - ・ペーパーレス化
  - ・校内 Web 掲示板の活用
  - ・集金関連業務のスマート化
  - ・オンラインドリル・教材の活用

- ### 安心・安全と健やかな体づくり
- ・自分の命は自分で守る子供の育成(健康・安全・防災教育)
  - ・お互いを認め合い、安心して過ごせる学級・学校(人権教育・道徳)
  - ・「する・みる・支える・知る」の多様な観点からの体育指導、スポーツテスト結果に基づいた基礎的な運動能力の向上、魅力的な運動会の実施
  - ・一人一人に向き合う豊かな保健指導、保健室経営
  - ・給食を生きた教材とした食育指導 食育教育の推進